

# 突撃!「極意」伝承道場!!

林田 聡子先生 (御代田町立御代田中学校)

柔らかな指導の中に、子どものやる気を引き出す工夫が満載。  
林田先生の教えから学ぶ!!

## 音楽科・授業づくり



12月7日(水)に御代田中学校で行われた第1講座林田聡子先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。この日は、林田先生の1年生の音楽の授業を参観させていただき、そのあとに最後の伝承道場が行われました。

授業では音楽会の合唱曲だった「心の瞳」を歌ったあとギター演奏に取り組みました。歌は力強さと意欲が溢れる歌声で、「ブラボー」でした。ギターの授業では、「放課後の音楽室」の3段目を確認し、最後の4段目を練習し、1~4段を完成させる授業でした。左手の指使いが課題で、「いろんな指を使うと、なめらかな演奏になる」ということで、複数の指をどう使うかを各自が考えて取り組んでいました。

林田先生の授業は、子どもを中心に考えている、できるようになるために子どもたちが何にどのように取り組んだらよいか理解している、子ども同士の関わりを大切にしている、子どもの頑張りをすぐに評価している等のよさが見られ、是非若い先生方に参観していただきたい授業だと感じました。

授業あとの伝承道場では、器楽の授業でのリコーダーとギターの扱いについてや



評価の仕方等に意見交換が行われました。そのあと、お互いが使っている学習カードの紹介を行い、子どもたちの取組や子どもたちの様子を紹介し合いました。受講者の先生方の頑張っている様子も伝わってきました。

林田先生が学習カードを大切に考えているのは、「他の先生からいただいた学習カードは自分で独自のものに内容を変える。そうすることによって授業構想ができてくる」という考えからです。

指導者の林田先生は、「**同じ教材でも毎年新しい切り口や展開にチャレンジして、自分の中にたくさんの引き出しをつくってほしい。うまくいなくても、それが必ず次のアイデアに繋がっていく**」と受講者の先生方にエールを送っています。林田先生の伝承道場は、音楽だけでなく、子どもを中心に据えた授業のあり方を学べる道場でした。今回で全ての内容が終わりましたが、受講者の先生方は林田先生の願いや考えを実践を通して具現化してくれると思います。

## 受講者の感想から

○「極意」伝承道場では、普段の授業を見学させていただいたり、ワークシート等を見せていただいたりしました。自分の授業と照らし合わせてみることで、こんなやり方も面白そう、と新たな発見があり、自分の授業のよさや改善点が浮かび上がってくることを実感しました。また、日頃の悩みを相談し合ったりすることができて大変有意義な時間となりました。

○他校の合唱を聴くことができたことは、自分にとって大きな収穫になりました。日常的な歌唱の活動の大切さがわかり、これからも自分の学校で合唱を大切に教えていきたいと強く感じました。